

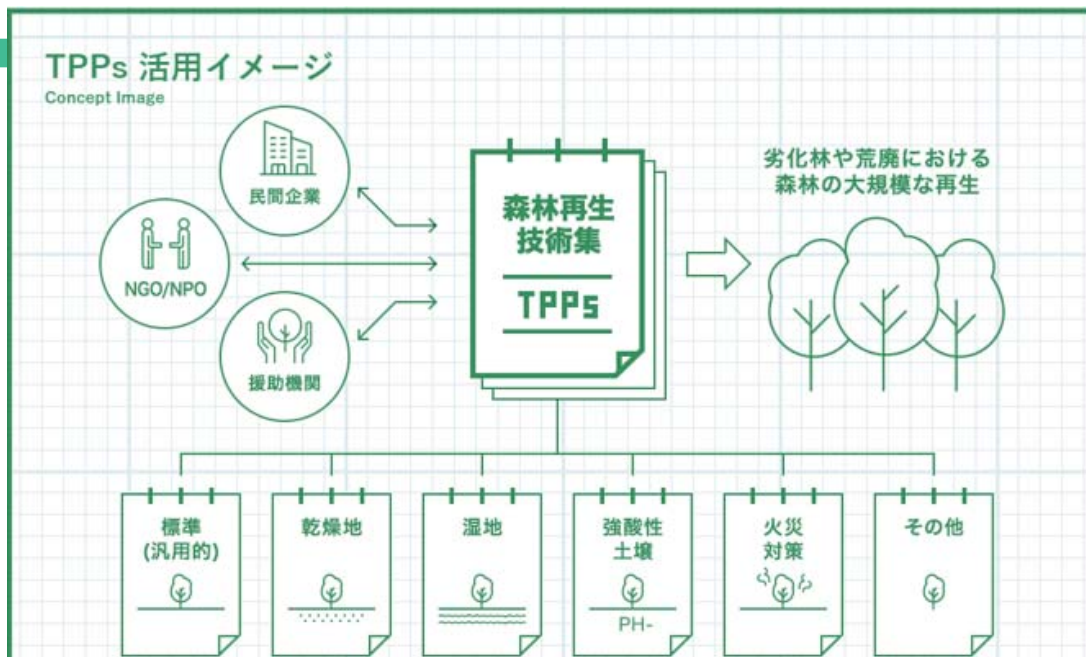
森林再生技術データベース 「森林再生テクニカルノート（TPPs）」

国際緑化推進センター 仲摩栄一郎



森林再生テクニカルノートの目的、活用イメージ

2

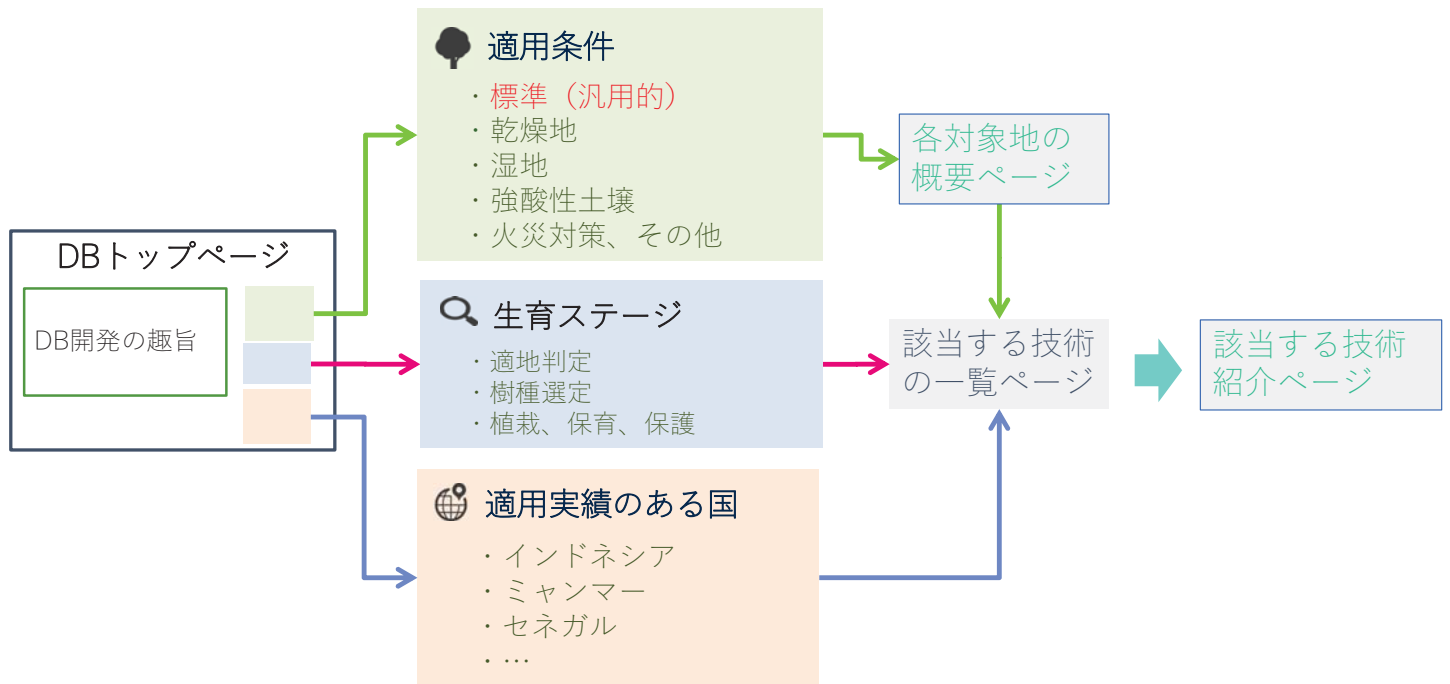


□ 森林再生に有用な技術をまとめたデータベース（技術集）をWeb上に掲載
<https://jifpro.or.jp/tpps/>



森林再生データベースの構造

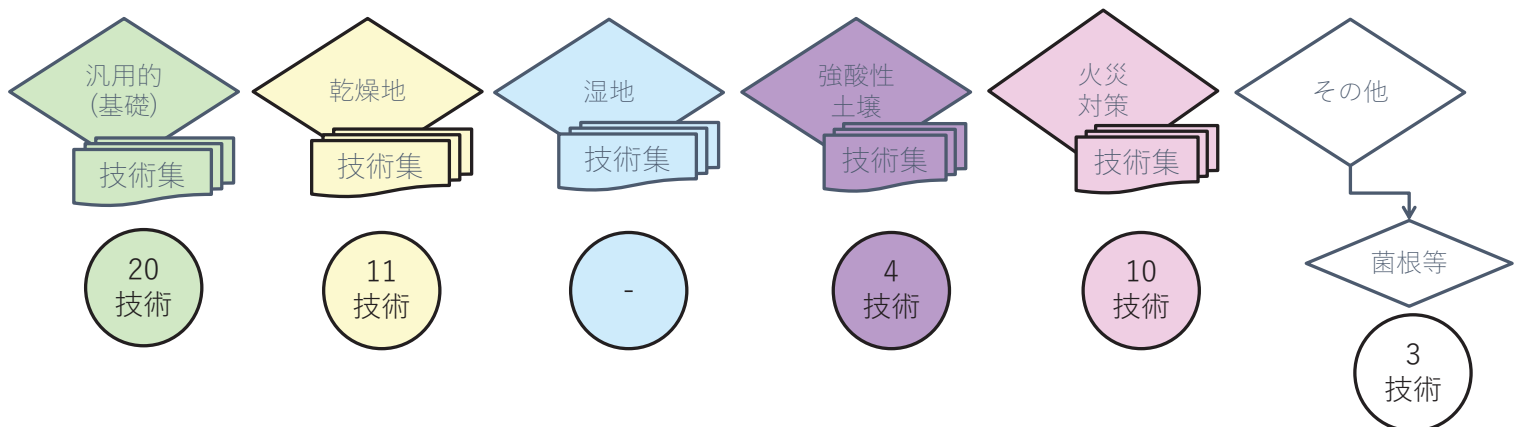
3



森林再生テクニカルノートに掲載技術

4

- 6つの適用条件について、計48技術を掲載
- 文末には、より詳細情報の記載された参考文献を明記
- 今後、掲載技術の追加を予定



森林再生テクニカルノート： 乾燥地の掲載技術例

5

- ① マルチング
- ② 植栽カバー (Waterboxx®およびTree Tray®)
- ③ 水瓶灌漑 (water jar reservoir)
- ④ 集水工法・テラス工法
- ⑤ 集水工法・マイクロキャッチメント工法
- ⑥ ミストキャッチャー
- ⑦ 超吸水性高分子材 (苗木の根浸漬)
- ⑧ 超吸水性高分子材SAP (育苗時)
- ⑨ 超吸水性高分子材SAP (植栽時)
- ⑩ 長根苗
- ⑪ 保育ブロック



中国内モンゴル自治区におけるテラス工法



森林再生テクニカルノート： 集水工法の例

6

The screenshot shows a webpage titled 'Technical Note for Tree Planting Practices 森林再生テクニカルノート'. It features a search bar and navigation tabs for '適用条件でさがす', '生育ステージでさがす', '適用実績のある国でさがす', and 'キーワードでさがす'. The main content area is titled '集水工法・マイクロキャッチメント工法' and includes a section 'マイクロキャッチメントの発想・着眼点'. Below the text are two photographs showing the construction of microcatchment structures in a field.

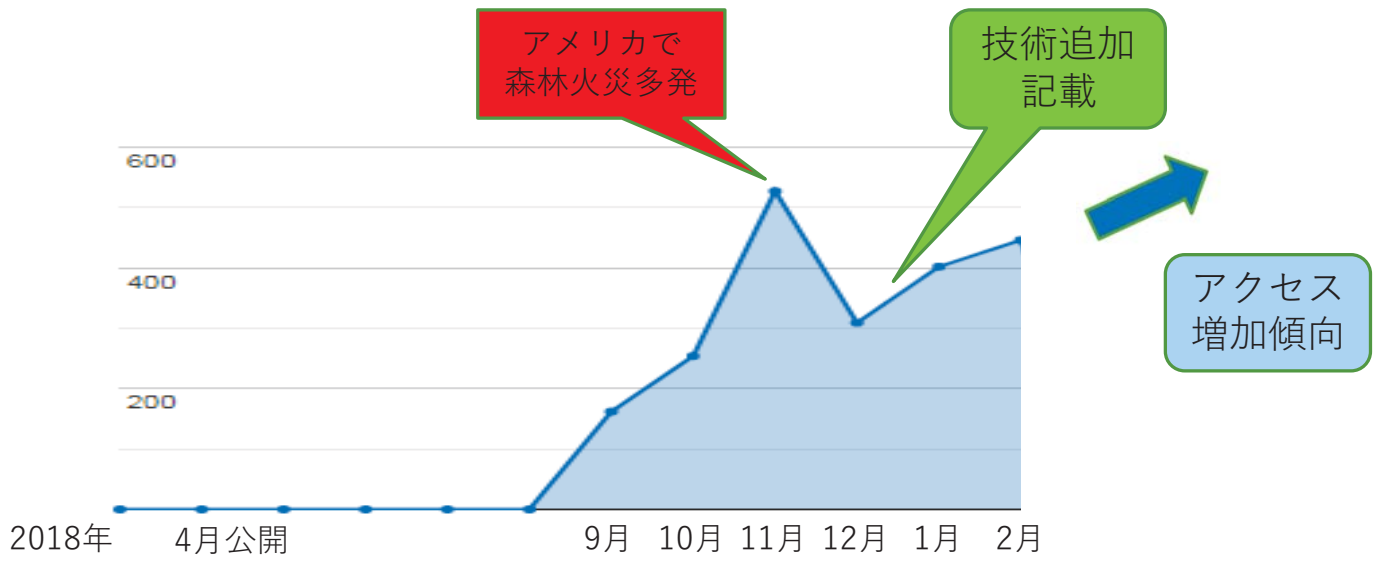
降水量が少なく環境の厳しいところでは、植栽成功率が低くても確実に苗木を活着させるため、土手を作るなど地形を改良して雨水を誘導する技術 (water harvesting) が適用される。この技術は乾燥地で広く行われており、多くの参考文献がある(1, 2)。地形の特徴、利用できる資材などによりさまざまなタイプの集水工法がある。広い面積に対して大規模に長いトレンチや石積みでテラスを作ったりすることがあるが、別途項目 (テラス工法) で解説する。

ミャンマーマダレー州の植林地における開放式集水並列型 (下図参照) の作成作業風景と降雨がたまった様子。



森林再生テクニカルノートへのアクセス数

7



皆さんも是非ご活用ください！